

リャンカンについて

リャンカンとは などのように、1つ飛びで3つ数字が並んだ形をいいます。リャンは数字の「2」、カンはカンチャンのことで、 が来ても が来ても3枚1組が完成する、2つのカンチャンがつながった形です。

や という形から、端牌だからと や を捨ててしまう場面を見かけます。しかしこれはちょっと損な打ち方なのです。

カンチャンは2枚で1ヶ所を待ちますね。そのため、カンチャンで2ヶ所を待つには、 と のように4枚の牌が必要です。

しかしリャンカンならば3枚で2ヶ所を待てるのです。ちなみにリャンメンは2枚で2ヶ所を待つことができるので、より良い形と言えます。

では、図1からは何を捨てましょうか。

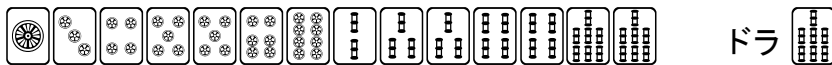
図1



や が入っているので、 を捨ててもタンヤオにはなりにくく、ピンフを狙う方が良いでしょう。ここは を捨ててリャンメン待ちをつくっておき、ピンズはリャンカンのまま残しておく方がピンフをつくりやすいのです。

続いて図2。ちょっとピンズが難しい形になっています。

図2



今度はタンヤオになりそうなので を捨ててしまいがちですが、これもリャンカン的一种。 は、 のリャンカンと に分けることができるのです。この形も実戦で結構でできます。

ここは を捨てておく方が良いでしょう。そうしておけば、 の他に、 が来ても 切りでピンドラ2、高めイーペイコーのテンパイにできるのです。 が来ても で使えるので は全く必要ない牌ですね。

リャンカンとは、2つカンチャン待ちがつながった形です。

リャンカンは3枚で2ヶ所待つことができる良い形です。